

第2回中学校部会要旨録

1. 開催日時	平成30年8月30日(木) 10:00~11:40	
2. 場 所	小矢部市役所2階 特別会議室	
3. 出席委員	教育委員 教育委員 小矢部市自治会連合会会長 小矢部市PTA連絡協議会会長 小矢部市連合婦人会会長 (公社)小矢部市青年会議所理事長 (公財)小矢部市体育協会副会長 社会福祉法人小矢部福祉会理事長 小矢部市中学校長会会長	佐々木稲男 津山 玄亮 川原 久俊 中田 稔 飛田 久子 六谷 成伸 杉澤 弘司 西川 康夫 川岸 直紀
オブザーバー	富山国際大学子ども育成学部教授	仲井 文之
4. 事務局	教育長 事務局長 教育総務課 次長兼課長 課長補佐 主査 指導主事	野澤 敏夫 砂田 克宏 間ヶ数昌浩 瀧田将一郎 早助 昭 吉倉 哲夫
5. 会議次第	(1) 開会 (2) 部会長あいさつ (3) 協議 ①教育費予算の状況について ②学校毎の維持管理費と地方交付税算入額の状況について ③現学校施設の利用状況について ④現学校施設の整備費について ⑤現学校施設改修の経過及び今後の見込みについて ⑥県内で近年整備された学校の人数・教室数・面積及び整備費について ⑦現校舎・体育館・部室等の解体費見込みについて ⑧小学校施設と中学校施設との構造面等の差異について ⑨通学範囲と距離、方法、時間等について ⑩通学バス運行について	

6. 開 会 協 議	【進行 部会長】
事務局	協議事項1「教育費予算の状況について」、 協議事項2「学校毎の維持管理費と地方交付税算入額の状況について」
	事務局説明
教育長	<p>私から少し補足をさせていただきます。地方交付税算入額の比較の表ですが、見ていただきたいと考えていますのは、学校管理費の実際の維持管理に関して小学校では 66,906,000 円、中学校では 42,503,000 円かかっております。これに対して地方交付税は1校あたり小学校では9,079,000 円、中学校では8,594,000 円です。これだけ国から入ってきているということになります。そうなってくると、もし学校を1つ減らした場合、約1千万円の費用が助かりますが、逆に交付税が850万円ほど減っていきます。1千万円すべてが助かるのではなく、収入も850万円減ります。差し引いて助かるのは150万円程度ということになります。必ずしも1校減るとそのまま経費が浮いてくるというわけではないということがこの表では見えます。一方、地方交付税は学校1校あたりではなく、クラスあたり、児童生徒1人あたりという算入計算もあります。その合計すべてみますと、2億9千万円余り国から入ってきているわけですが、実際には子どもたちの教育あるいは、学校の維持管理にかかっている経費は、3億3,000万円あまりですので、交付税によって小矢部市の教育をまかなっているわけではなくて、この差額は小矢部市の税金によってまかなっているという状況が見えるということになります。</p>
	【質疑なし】
事務局	協議事項3「現学校施設の利用状況について」
	事務局説明
教育長	私から補足をさせていただきます。今の説明の最後にありました

	<p>ように、現在小学校中学校共に空き教室は無いという状況を報告させていただきました。これはなぜかと言いますと、小学校中学校いろいろな科目がでてきておりますが、例えば小学校では英語教育というものが始まってきました。そうすると、英語を教えるために英語用の部屋というものが必要になってきます。壁に単語やイラストを貼る等、そういうものを見ながら授業をしています。いちいち普通教室で、授業の度に貼ったりするのは大変なので、教科に合わせて英語や生活科等、学習しやすいような、言わば特別教室を設けて授業を進めているという現状にあります。そういうような使い方を実際にしておりますので、空き教室というものは無いということになります。</p>
委員	<p>十分に使っているということなので、逆に言えば他の市町村と比べると贅沢な使い方という見方でよろしいですか。</p>
教育長	<p>確かに教科ごとに部屋を設けて授業をさせていただいているのは、やりやすい運営になっています。実際子どもたち授業を進めていくなかでは、そのような環境を整えるということが学校の教育現場からも求められておりますし、そのような余裕が無い市町村から比べれば確かに豊かな環境と言えるかと思えます。しかし小矢部市の子どもたちの教育を考えたときにこういうようなしっかりとした対応をもって進めていくという現状をご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>おそらく統廃合になってくると、増改築なりしなければいけなくなってくると思いますが、十分に有効利用をして少しでも費用を安くしようという議論もでてくると思いますので、今の状況は空き室を利用しているというような考え方で良いのか、必ずしもそれを設けなければいけないのか、という議論になると思います。おそらく小矢部市は十分な環境が整っているのだなと思います。</p>
委員	<p>特別教室の稼働率というのはどのくらいなのでしょう。一週間に1回だけ使うものでも特別教室で、1回のためだけに空けておくというものもあるでしょうし、稼働率が低いものだったら、統合したほうが、より特別教室が効果的になる場合もでてくると思います。どういう現状かを教えていただきたいです。</p>

<p>教育長</p>	<p>稼働率を算定した表はございませんが、授業に使っていますので、授業の数分だけ特別教室を使っています。例えば生活科の授業のときに生活科として作られた教室を使っていると、英語の授業のときには英語の教室用に作られた教室を使っています。年に1回しか授業が無いというものはありませんので、その科目に応じた設えで各教室を設けて授業に使っているということになります。もし、その教室が無くなれば、その授業に合わせて教室の掲示を取り替えたりだとか、あるいはその掲示を無しにしたりだとか非常に学校現場としては教えにくい状況になります。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば稼働率が100パーセントの学校が2校あった場合、統合したほうが稼働率はとても高まって、空き教室が減るということになるわけです。全部100パーセントだと、統合しても同じ分の広さのものが必要になるわけです。例えばうまく25パーセントずつ使っていて、4校まとめて統合した場合だったら特別教室が100パーセント使えるということになりませんか。</p>
<p>教育長</p>	<p>もしかしたら授業の組み方によっては、例えば理科室でしたら、1つ1つあれば、それをまとめて1つで済むということがあるかもしれない。それは理論的に組み合わせを実際考えてみないと何とも言えないところではありますが、例えば大きな学校では理科室なんかを第1及び第2と、音楽室も第1及び第2と設けたりしていますが、学校規模が大きくなってでも、特別教室は1つで済むということではなくて、生徒の数が増えると、科目によっては特別教室を2つ設けていくということもあります。一概に推定し難いと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>協議事項4「現学校施設の整備費について」、 協議事項5「現学校施設改修の経過及び今後の見込みについて」</p> <p>事務局説明</p>
<p>教育長</p>	<p>私から補足をさせていただきます。今回これまでどのように整備してきたか、どのように改修工事を進めてきたかという時系列で説明させていただきました。これらを踏まえて、資料の各号に今後ど</p>

れほどかかるのかという見込みをだしたわけですがけれども、このあと統廃合という問題にどう対応していくのかということと深く関わってきます。残す学校については、この後しっかりと長寿命化の工事等をしていく必要があるのではないかと思います。逆に廃止していく学校については、この工事が不要になっていくということになってくるわけです。第1回目のときに申しあげましたように、小矢部市の総合計画を向こう10年間作成しようとするわけですが、その中に大規模改造あるいは長寿命化を計上していくのか、していかないのかということが不可分的に影響していきます。もし、この学校を残したらどれほどの長寿命化の費用が必要になってくるのかなということはこの表を目安として見ていただければと思います。ちなみに長寿命化工事を行った場合は、行ったあと向こう30年はその校舎を使い続けて下さいということを国は言っていますので、寿命が更に30年延びるということになります。

【質疑応答なし】

事務局 協議事項6「県内で近年整備された学校の人数・教室数・面積及び整備費について」

事務局説明

委員 中学校の統合で、2020年に開校してから1年間の学級数と生徒数はおよそどれくらい変わっていくのかということが分かれば教えていただきたいです。

事務局 実際にこれがどのような形になっていくかということは、資料が入手できるかどうかは分かりませんので、黒部市にお願いをして入手できるようであれば、次回お示しするという形にさせていただきたいと思います。

委員 黒部市の事案についての話ですが、新しく1校作り、生徒数が500の規模とすれば、約20億円かかり、もう1つの同じ規模の学校は改修すると言っております。1つは学校を作り、1つは改修するということでもあります。これは参考資料としてとても大事なものであると思います。できれば他の資料も見せていただけたらよいと思

	っております。
事務局	<p>今ほど改修費が非常に大事な資料であるということですが、おっしゃるとおりだと思います。また、実際の今の状況あたりももう少し黒部市のほうに確認をしながら、事業費がでていものであれば、どれくらいかかっているのかということ資料としてお示しできればと考えております。</p>
事務局	<p>協議事項7「現校舎・体育館・部室等の解体費見込みについて」、協議事項8「小学校施設と中学校施設との構造面等の差異について」</p> <p>事務局説明</p>
委員	資料の33ページはどういうことを言っているのですか。
事務局	<p>実際には小学校と中学校の階段の高さが、小学校の場合は16センチ以下としなければいけません。中学校の場合は、18センチ以下が良いという基準があります。しかし実際にはこの違いがあるけれども、この特例を使うことによって、小学校の場合でも18センチ以下という形にすることができます、ということをおっしゃいます。例えば小中学校を一緒にした義務教育学校というものができていますものから、このような特例措置が設けられているというわけでございます。</p>
委員	生徒の身長や体重が昔と比べて成長しており、そういうことを考えた場合には緩和してもよいということでしょうか。
事務局	<p>当然小学生と中学生では身体が大きさが違うものですから、階段を登る際に、小学生は中学生よりも低くということに建築基準法では決まっているわけですが、今現在の流れからしますと、例えば手すりを設けたり、滑りにくくしたりした場合には、今の中学校の施設を小学校の施設として使うことも可能といったような特例が設けられているというわけです。</p>
委員	統廃合というのは、本当にいろいろな要素を考えていかなければ

	<p>いけないと思います。黒部市のように新築するところもあれば、改修するところもあります。中学校の施設を小学校が使うかもしれないし、いろいろなことを考えたうえでの統廃合であると、今聞いていて思っておりました。</p>
委員	<p>例えば小学校を中学校に、中学校を小学校にするといった場合の改修費や増築費に対しては、助成措置はあるのですか。</p>
事務局	<p>現施設のほうを統合校として使っていくにあたって、当然使い勝手よくするためとか、特別教室だったものを普通教室に変えなきゃいけないだとか、また、今の建物では面積が不足するので、増築する必要があるとか、そういった場合がでてくると思います。それらについても国の方で事業を設けており、それぞれ補助対象でみていただくということ是可以できるようになります。</p>
教育長	<p>小学校を中学校に、中学校を小学校にというようなアイデアがあるなかで、階段の問題は特例でクリアできそうなのですが、私が少し注目したいのは、教室の広さです。これはかなりの改修になってくると思います。特に小学校を中学校に使うということになってきますと、広さが全然違いますので、教室の間仕切りをうまく設定できるのかどうなのかも着目すべき大きな点かなと思います。</p>
事務局	<p>協議事項9「通学範囲と距離、方法、時間等について」、 協議事項10「通学バス運行について」、</p> <p>事務局説明</p>
教育長	<p>今の通学バスについてですけれども、特に中学校のほうですが、統廃合をしていくと、当然通学距離が長い子どもたちがでてきますので、いろいろなやり方があると思いますが、おそらくスクールバスを運行しないと対応できなくなるのではないのかなと思っております。注目すべき点は、通学バスの帰りの出発時間によって、原則部活動の時間が制約されてしまうというのは、非常に大きな点であるなと思います。子どもたちは授業が終わってから、着替えて用具を準備して、それで部活をする。バスに乗るためには、また着替えて、用具を片付けて、ということをしなければいけないので、実</p>

	<p>質の部活の時間が限られてしまいます。部活動を確保するための統廃合という視点はあるわけですがけれども、一方で通学という側面から見たときに、非常に窮屈なことが起こりかねないということをご理解いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今できえ遠くの地域はバスの時間が早いので、部活動の時間が短いことが分かります。統合をしたら、更に短くなると、学校の体育に任せるということになっていくのでしょうか。今中学校の部活も問題になっていて、毎日の部活もだめになり、週2日削減されて、更に少なくなっていったら、大切な中学生の部活動が心配になります。</p>
<p>委員</p>	<p>冬期のバス運行が通年運行になると考えると、冬期だけなら日没も早いので、どこの学校もやっていることなのですがけれども、夏の期間もスクールバスの運行によって部活動を制約するということになると、一生懸命部活をやりたい子どもたちを応援するためにはどうしたらよいかというのは、大変大きな問題であると改めて分かりました。</p>
<p>委員</p>	<p>4つの学校が1校になった場合は、今まで4カ所から出ていたものが、1カ所から出て、1本じゃなくても2本にすればよい等、そういう対策が必要になってくるのではないかと思います。本数を増やすことはできるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今ですが、実際中学校の1、2月の冬期のスクールバスの運行については、今現在小学校で使っているバスを、小学校が終わってから、中学校へ回すというような使い方をしております。統合してスクールバスの運行が必要になれば、新たに中学校用のスクールバスを購入して運行しなければならないということが予想されます。</p>
<p>部会長</p>	<p>その他として、先日開催いたしました第1回の中学校部会会議録の市ホームページの公開について、お謀りいたします。</p> <p>会議録の発言内容等について、修正等があればご発言をお願いいたします。</p>

事務局	<p>【事務局対応策説明】</p>
部会長	<p>他にありませんか。 それでは、お謀りいたします。 会議録をホームページにて公開することに異議ありませんか。</p>
部会長	<p>【異議なしの声】</p> <p>第1回小学校部会の会議録の公開については、承認されました。 そのほか、部会運営などについてご要望等がありましたらご発言をお願いいたします。</p> <p>他にございませんか。無いようですので次回の日程について事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>【次回日程案説明】</p> <p>【閉会】</p>